

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース
第6回 「～自然を使って遊ぼう～自然の音楽祭」

実施日時: 2019年12月15日(日)
会場: 子ども自然公園(神奈川県横浜市)

<活動のねらい>

- ・ 自然物が楽器へ変化する過程を楽しむ。
- ・ 班でひとつのものを作り上げる

<プログラムの構成要素>

- 自然に対する好奇心 ★
- 創意工夫を楽しむ心 ★★★★★
- 仲間とやってみようとする心 ★★★★★



【自然の音楽祭】は、音の鳴る自然物を探して発展させていき、楽器のように演奏します。前回、「音探し」をした子どもたちはイメージが湧いていたのか、公園までの道中からすでに音の鳴る自然物を探していました。手にはたくさんの枝や葉っぱ。その表情は、わくわくしていました。



公園に着き、まずは広場遊び。午後は班ごとの時間になるので、午前中はみんなで遊びました。今回遊んだのは、バナナ鬼ごっこです。子どもも大人も本気で追いかけて、逃げ回り、笑いながらも真剣でした。思い切り走り、身体も心も温まり、お昼の時間になりました。



クリスマスが近いということで、テーマ曲はクリスマスソングの中から各班好きな曲を選びます。一番人気は、誰もが一度は聞いたことがある「ジングルベル」でした。昼食後は、班ごと公園を歩き回り、音の鳴る自然物を探します。子どもたちのひらめきと発想が溢れ出しました。



木を枝で叩くと、叩く場所によって音の高さが変わること気が付いた子がいました。そして、そこから発展させ、叩く物によっても変化する音を楽しみながら、何を使うか考えている様子がありました。



その他にも、袋にどんぐりを入れ数によって音が変わること、枝を入れるとさらに音が変わることなど、友だちのアイデアからどんどん発展していきました。以前より、班の仲間に意見を求めたり、一緒に考えたりする場面が多くなり、それと同時に笑顔も増えたように感じます。音楽祭の発表も、各班堂々と歌いながら音を奏でる姿は、とても頼もしく見えました。残り2回の活動での子どもたちの変化も楽しみにしています。